







お花の栽培シリーズ「カラー」

2012年4月	卯月(うづき)・卯花月(うのはなづき)・鳥月(とりづき)・花残月(はなのこりづき)・夏初月(なつはつき)・余月(よげつ)	●春まき草花の種子まき時期
●心待ちにしていた季節の到来です。庭は、活気づき、華やいだ雰囲気があふれます。病害虫の発生が、盛んになる時期でもあるので、防除の手入れは 早めにしましょう。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウメやサクラにウメムシが発生する前に、害虫駆除を定期的に行いましょう。</li> <li>・落葉樹を「とり木」でふやすなら、この時期に行いましょう。</li> </ul>	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春まきの草花をまき終える。</li> <li>・病害虫の発生がさかんになるので、早めの予防をしましょう。</li> </ul>	

今月の誕生花	ゴデチア	
今月の花	花言葉/かわらぬ熱愛・お慕いいたします	
	<p>ゴデチアはアカバナ科の多年草。原産地は南国アメリカ。季節は5～6月。花の色は、赤、ピンク、橙色。</p> <p>ゴデチアの名前は、スイスの植物学者「C.H.Godet(シャルル・ゴデ)」の名前にちなんでいます。和名は「イロマツヨイグサ(色待宵草、または色待宵)」で、花色が豊富なことと夕方に咲くことからとされます。</p> <p>ちなみに月見草などと同じ夕方に咲く花のなかでもゴデチアは昼を迎えても花がしぼみません。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花 カラー

<p>日当たり</p>  <p>半日陰</p>	<p>水やり</p>  <p>水を好む</p>	<p>草丈</p>  <p>30～80cm</p>	<p>気温</p>  <p>10～25℃</p>	<p>花色</p>  <p>白 黄 桃 橙</p>
--	--	--	---	---

すっきりとした容姿が美しいカラー。見ているだけで気持ちがシヤンとしてきます。色がついて花のようにみえる部分は苞で、花はその中心にあります。植えつけは、保水性の高い粘土質の土をういます。水は好みますが、過湿は株を傷めますから、水はけのよい用土であることが大切です。茎や葉に水がかかると傷んでしまうので、水やりは根元にしましょう。露地栽培する場合は、半日蔭となる場所を選び、15cm間隔に植えつけます。3~4年たったなら植え替えをします。同じ場所に植えるのは避け、新しい場所に植えるようにしましょう。花期には肥料は必要ありませんが、花が終わったら肥料を与えます。花後から葉が枯れるまでに、葉で養分を作って球根に溜め込みます。寒くなると葉が枯れて休眠期に入ります。鉢植えの場合は暖かい室内の風通しがよく乾燥した場所に置きます。



### ● 植えつけのやり方

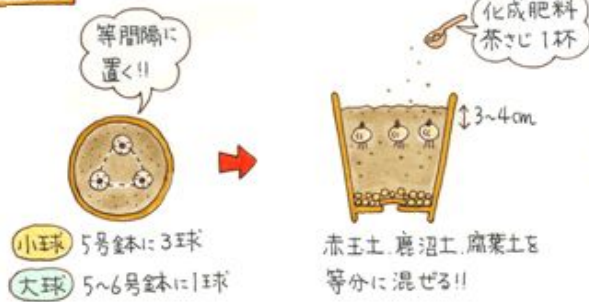
#### 露地栽培



#### 花後の管理は...



#### 鉢植え



### ● 年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	休眠期			花期						休眠期		
置き	屋内の半日蔭 ※休眠させる場合は、暗かく風通しのよい乾燥した場所			屋外の日当たりがよい場所			屋外の半日蔭/ 露地栽培は日よけをする			屋外の日当たりがよい場所		
水やり	表土が乾いたら与える(数日1回) ※休眠期に入ったら水やりはストップ			表土が乾いたら与える(1日1回)						表土が乾いたら与える(数日1回) ※休眠期に入ったら水やりはストップ		
肥料				元肥			★★花が終わったら化成肥料を与える					
病害虫												
作業	植えつけ			植え替え			花がら摘み			花が終わったら茎から切り取る		
	3~4年に1度、新しい場所に植											